

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：学校健康教育費

事業名：新 学校給食再調理衛生管理費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 学校給食係 電話番号：058-272-1111 (内 3592)

E-mail： c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,127 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	4,127	0	0	0	0	0	0	0	4,127
決定額	4,127	0	0	0	0	0	0	0	4,127

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

特別支援学校では、児童生徒一人一人の障がいの状態や体調、嚥下能力に応じて学校給食を食べやすい形状にするなど再調理をして、摂食指導や介助を行っている。

新型コロナウイルス感染症への対応のため、衛生管理の徹底が必要となっている。

(2) 事業内容

介助のうち学校給食従事者と同程度となる作業をする職員に対して、学校給食衛生管理基準に基づく検査等を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10 / 10

学校給食の安全な実施は学校設置者に責任があり、県負担が妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	881	給食再調理業務に必要となる衛生管理物品の購入
役務費	3,246	検便検査料、ノロウイルス検査代
合計	4,127	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

学校給食衛生管理の基準

事業評価調査書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
老朽化により給食業務に支障をきたしている給食備品の修繕を進めることにより、学校給食の調理現場の環境改善を促進していく。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目 標	達成率
		件	件	件	件	%
	(H)	(H)	()	()	()	

○指標を設定することができない場合の理由

衛生管理に関する事業のため、指標の設定に馴染まない。

(前年度の取組)

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

(前年度の成果)

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	学校給食を安全に提供する為に衛生管理の取組は必要不可欠である。また、再調理従事者の衛生環境を整えていく為に消耗品費も必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) —	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	学校給食の再調理の特殊性から、各学校で効率的に行っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 学校給食の再調理の在り方について、今後も検討し、改善が必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 児童生徒の障がいの状態や体調、嚥下能力に合わせ、安全で安心な学校給食が提供できるように改善が必要である。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	

